

図書館だより

2024年5月号 No.447

発行／静岡市立図書館 編集／中央図書館美和分館



ほんやま

本山茶～新茶の季節です

立春から数えて88日目、今年は5月1日が八十八夜です。茶摘みのシーズンに入り、美和地区の茶畑でも、光り輝く緑の新芽は、一芯二葉摘みで腰籠にリズムよく入っていきます。芽が出て最初に摘まれた茶葉を一番茶と言ひ、冬の休眠で栄養を蓄え、旨味成分のアミノ酸含有率が高く、旨味と甘みが際立ち品質がよいとされています。摘み取った茶葉は製茶工場に運ばれ、蒸し、揉み、乾燥といった工程を経て煎茶になります。近くを歩くと良い香りに包まれ、お茶所静岡を五感で感じとることができます。八十八夜の新芽を摘んで作った新茶を飲むと病気にならないとの言い伝えもあり、初物の香り高い新茶を求める人でも賑わいます。

荒茶生産量が日本一の静岡県ですが、安倍川・藁科川筋の山間茶産地で生産される本山茶は、川根茶、掛川茶と共に静岡県の三大ブランド茶のひとつで、最も古い歴史を持ちます。鎌倉時代、栃沢生まれの聖一国師が宋に留学後、生まれ故郷に帰る途中、持ち帰った茶種を足久保村に植えたのが初めと伝えられています。静岡茶発祥の地とされ、その後、徳川家康に献上され、江戸時代中期には茶産業の基礎が築かれ、明治初期には重要な輸出品となりました。



本山茶の名前は、大正時代に清沢村の茶農家、築地光太郎氏により名付けられました。輸出が盛んになると、各地で茶栽培が広がり、静岡市内の有渡山麓でも安倍新山茶の名で産出し始めました。安倍山間地方で栽培していた茶は、安倍茶と呼ばれていましたが、本山茶の名により、その違いを明らかにしブランド化に成功しました。さわやかな香りと澄み切った黄金色、まろやかな甘みの特徴とする本山茶。伏流水をもった安倍川流域の山間地では、霧が山を包み、茶葉への日差しをやわらげます。さらに、昼夜の温度差が大きく、山間部特有の環境が美味しい茶を育てているのです。



お茶には、カテキンの抗酸化作用、殺菌作用、テアニンのリラックス作用、カフェインの脳や心臓の活性化作用、ビタミンCの病気予防、ミネラルの虫歯予防などの効能があります。なにより、お茶の一服でゆとりが生まれ、心が安らぎます。

<参考文献> 『静岡縣茶業史』 静岡県茶業組合聯合
会議所編 国書刊行会 1981年 S617.4/シ

『美和郷土誌』 美和郷土誌編集委員会編

美和郷土誌刊行委員会 1985年 S211.3/ミ

『静岡市茶どころ日本一計画第2次』 静岡市経済局

農林水産部農業政策課編 静岡市 2023年 S619.8/シ



御幸町図書館開館 20 周年記念イベント

「ライトさんをさがせ!」開催中!



児童コーナーに隠れた7人のライトさんを探してシールを集めてください。

7人全員見つけたらプレゼントがあるかも♪ ご参加の方はカウンターにお声掛けください。

- 日 時 現在開催中! 5月5日(日)終了予定
- 場 所 御幸町図書館 4階児童コーナー
- 対 象 児童コーナーをご利用のお子様
- その他 プレゼントは先着順
- 問合せ 御幸町図書館 ☎054-251-1868

児童コーナーでは、
御幸町図書館開館 20 周年記念イベント
ライトさんの「ぬりえたいかい」も
同時開催中!ぜひ参加してね!

御幸町図書館キャラクター

ライトさん



市立図書館で映画を観よう!



静岡市立中央図書館・南部図書館・清水中央図書館の3館にて、
シズオカ×カンヌウィーク 2024 が開催される5月は、カンヌ国際映画祭に関連した作品を上映します。
詳細につきましては静岡市立図書館ウェブサイトをご覧ください。か実施館に直接お問い合わせください。

静岡市立図書館の情報はここから



図書館ウェブサイト
<https://www.toshokan.city.shizuoka.jp/>



X (旧 Twitter)
https://twitter.com/shizu_tosho



しずおかし電子図書館
https://web.d-library.jp/shizuoka_city/

(携帯) <https://www.tosyokan.city.shizuoka.jp/Licsxp-opac/MOpacMnuTopInitAction.do>
※令和6年3月から携帯版のHPアドレスが変わりました。

静岡市立中央図書館 〒420-0884 静岡市葵区大岩本町 29-1 (054-247-6711)

御幸町図書館(054-251-1868) 藁科図書館(054-278-4100) 西奈図書館(054-265-2556)

北部図書館(054-653-1817) 南部図書館(054-288-2151) 長田図書館(054-259-7878)

清水中央図書館(054-354-1331) 清水興津図書館(054-360-4311)

蒲原図書館(054-388-3456) 麻機分館(054-248-5035) 美和分館(054-296-6501)